

平成29年第6回定例教育委員会 会議録

1 日 時 平成29年7月27日(木) 14時00分開会
15時00分閉会

2. 場 所 長与町役場 4階第1委員会室

3. 出席者 教育長 勝本真二
委 員 原田成信
委 員 村上光子
委 員 野口眞知子
委 員 古賀清彦

4. 会議に出席した職員

教育次長	帯田由寿
理事(兼学校教育課長)	金崎良一
教育総務課長	宮司裕子
生涯学習課長	山口利弘
教育総務課 課長補佐	峰 修子

5. 会議録

○帯田教育次長

ただいまより、7月の定例教育委員会を開催いたします。はじめに勝本教育長が御挨拶申し上げます。

○勝本教育長

はい、改めましてこんにちは。皆様方におかれましては御多用中、また非常に暑い中御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

先月は学校訪問、ふれあいペーロン大会、弁論大会、また、今月16日は、子供会球技大会等への行事に御参加、御協力頂きまして誠にありがとうございます。

おかげさまで1学期は大きな事件事故等もなく無事終わることができました。子供たちをはじめ、教職員、保護者、地域の方々に感謝申し上げたいと思っております。

この夏休み期間中も、子供たちにとっては、学習、そして部活、いろいろな体験活動を通して、有意義な夏休みになるよう願っております。それと同時に、事件事故等もなく、終わることができればなど日々願っているところでございます。

来月8月になりますが、8月3日、4日、九州町村教育委員会研修会があります。

6日には長与町のペーロン大会、平和コンサート、そして、9日には平和の集い等が予

定されております。

大変暑い中ではありますが、御協力のほどよろしくお願い致しまして、甚だ簡単でございますが、開会のあいさつといたします。

○帯田教育次長

次に、6月20日に開催いたしました、教育委員会の議事録について御承認をお願いいたします。御承認いただきますでしょうか。

○委員全員

はい。

○帯田教育次長

ご承認ありがとうございます。続きまして、報告でございます。初めに教育行政報告でございます。主なもののみ御説明申し上げます。1ページ目をお開きください。

教育総務課では7月14日、「長与町奨学資金運営委員会」が開催され、基金の運用状況並びに今年度の奨学資金の貸し付けに伴う資格審査が行われました。

次に、学校教育課です。6月27日、「長与っ子の心を見つめる教育週間事業」といたしまして、小学生398名、中学生446名の参加のもと、「第5回ふれあいペーロン大会」が開催されました。

6月29日、「中学生からのメッセージ第39回少年の主張長崎県大会長与町代表者予選会」が開催され、12名の発表者の中から、最優秀賞に長与第二中学校の「渡邊すみれさん」、優秀賞に長与中学校の「藤野成実さん」が選ばれ、両名が地区大会へ出場いたします。

6月30日、「球磨村交流研修参加児童、保護者、事前説明会」が開催され、8月3日から4日にかけて、球磨村より児童63名が来町予定でございます。

生涯学習課では、7月4日、「長与町学校支援会議関係者研修会」が開催され、関係者42名の参加のもと、お互いに意見を交換し、成果や課題を協議、共有し、今後の学校支援会議の取り組み内容の改善を図る研修を行いました。

7月16日、「町子連球技大会」が開催され、ソフトボール、ドッジボール、転がしドッチボール、ドッジビーの4競技が実施され、熱戦が繰り広げられました。

以上で教育行政を報告を終わります。次に、学校事故報告でございますが、事故等はあっておりません。続きまして、委任事項でございますが、委任事項もございません。

これをもちまして報告を終わらせて頂きます。以上までで御質問はございませんでしょうか。

○野口委員

6月27日の「第5回ふれあいペーロン大会」に関してですが、いつも夏休み中に開かれていたこの行事が6月になったということで、それこそ賛否両論あったと思うんですけども、私個人としましては、夏休みというのはやはり、家族とかいろんな行事、その家族を含めた行事にどんどん子供たちを参加させるべきだと思っております、6月の

この時期に授業の一環として開かれたことがとてもよかったと感心しています。

地元の方たちの声を聞くと、それぞれ異論はあったようですけれども、夏休みになったら、いろんな行事のために欠席する子供たちもいると思いますから、この時期だから、参加可能な人数がマックス近くなると思いますから、よかったと思っています。それと、すごく感動したのは、障害を持ったお子さんもその中に参加されていて、とっても活発に、ペーロンを喜んでいる姿を見て、本当によかったなと私は感動しました。

○村上議員

野口委員さんが、改めて、ふれあいペーロンの期日の変更を言われましたけれども、私は、金崎理事にはお聞きしたのですが、今回は開会式を実施しなくて、閉会式だけ実施されたと思います。そのことについて、一応、プラスマイナスは有るかと思いますが、プラス面はお聞きしましたので、その辺が如何だったかあわせてお聞きしたいと思っております。

○帯田教育次長

ふれあいペーロンでございますが、いろんな御意見いただきましてありがとうございました。まず、なぜ6月に開催したかということですが、委員さんがお話しされたように、やはり全員の子供さんが参加しやすい環境のもと、授業の一環としての開催、それと、各校の先生たちの負担軽減もございました。夏休みに開催していた時には、学校によっては毎日子供たちを集めて練習をしたり、先生方の御負担になっている部分もございました。また、小学校と中学校で前半、後半に分けて開催したことで、貸し切りのバス代が半分で済み、経費削減にも繋がりましたので、このような形式で行いました。

委員さんがおっしゃいました、「なぜ開会式がなかったのか」という点は、各委員さん、議員さんの方に御案内を差し上げていることもございますので、私どもも反省をし、前半の小学生の部だけでも開会式を行うよう、再度検討し、実施に向け今後協議したいと考えております。

○勝本教育長

他ございませんか。

○野口委員

6月29日の「中学生からのメッセージ」についてなんですか。

毎回聞かせて頂く度に、何と長与町の中学生のレベルは高いんだろうと、文章力もすばらしいって感心しています。いつも私は、敢えて結果まで知りたくなくて、私の中では、皆さん素晴らしいから甲乙をつけるのが何だか酷だなという気がして、わざと退席するのですが、今回の結果を今知ったのですが、いろいろと演題があるなかで、一位になった方の内容が、やっぱりなって思ったのは、動機づけのすばらしさでした。

どのぐらい皆が共感を得る内容だったかっていうのを、再確認しまして、よかったなと本当に、心よりおめでとうございまして申し上げますと申し上げたいです。

本当に長与町の弁論大会、すばらし過ぎます。それに携わる先生たちの御苦労も大変

だと思えますけど、そのレベルに引き上げて、弁論の仕方とか、すべてよくこなされていますので、いつも、いい大会だなと感謝しております。

ありがとうございました。

○勝本教育長

お褒めの言葉ありがとうございます。

○古賀委員

先ほどのペーロン大会の話にちょっと戻ります。今までの取り組みというのが夏休みでまた、レース形式ということで、各学校ちょっとヒートアップし過ぎて、地域の方もだいぶ借り出されての練習が今までなされて来たんじゃないかなと思っています。そういうところも、地域との関わりを持つためには、非常に大事なところではあるんですが、指導する方の高齢化であったり、いろんな事情があって、逆に負担をかけている面もあったのかなと思います。また、感じたことで、6月の下旬に、以前はその時期にやっていたのですが、そういうところで授業の一環として先ほどお話があったようにやっていくのもまた新しいスタイルじゃないのかなというふうに思います。

小中が一緒になってするようになってからの流れの中でもかなり回数を重ねていますので、そういう中で、時代に合ったやり方で、無くすわけではないので、学校の負担を減らしながら、内容を少し煮詰めていきながらやっていくとそれが定着していくので、それはそれでいいのかなというふうに、私自身は今年、その大会に参加できなかったんですけども、感想を持ったところでした。

それと、球磨村交流のことですが、町内から、以前のように5年生の希望者からの、抽選で以前はやっていたと思うのですが、まだそういうふうな形でやっているのか参加人数や内容について、詳しくお聞きしたいなと思います。よろしくお願いします。

○金崎理事

はい、ペーロン大会につきましての御意見どうもありがとうございました。

球磨村につきましてですが、今回は、昨年度実施をしておりませんので、昨年度の5年生であった6年生と今年度の5年生の5・6年生を対象に募集をしまして、非常に多く参加希望がございましたので抽選でさせていただきました。

人数につきましても球磨村の方から5、6年生が参加するということで、球磨村からの参加者が63人でしたので、長与を53名にして、抽選で53名がそこに参加をするという状況です。

この交流は一昨年まで、長与に来て、そして長与からも出かけて行ってとしておりましたが、今年度は球磨村から長与に来る。来年度は、長与から球磨村に行くというように隔年ごとに行き来をするスタイルにさせていただきました。

以上です。

○勝本教育長

他ございませんか。

○原田委員

7月16日の「町子連球技大会」ですが、年々、参加チームが減ってきている中で、今回も開会式等に参加させて頂いたのですが、やはりまた少ないような感じがしました。今後子ども会の加入が少ない状況でこの球技大会も参加チームが減っていくのではないかと心配なのですがどうでしょうか。

○山口課長

小学生男子のソフトボール競技で、今年度参加が5チームということで、昨年より1チーム減となっております。ドッジビーが3～4年前から始めたのですが、20数チームと、その競技が1番増えているところでございます。

子供会の加入率の低下はですね、ちょっとやむなしかなというふうな、委員会で話が出ているところではあるのですが、球技大会につきましては種目を変えたりして、できるだけ多くの方、多くの子供たちに、参加してもらいたいと考えております。

小学生男子のソフトボールチームは参加が減ってきているものですから、フットサルなど種目の検討を町子連の本部役員の方をお願いしたところですが、最近は子どもたちがサッカーばかりしていて、キャッチボールも上手くできないというふうな状態ですので、フットベースボールだといいいのかなと、今後、町子連の方々に提案させて頂こうかと考えております。またそういった種目の変更によって、参加チーム数を伸ばしたいと考えております。

○原田委員

せっかく子供たちが交流できるスポーツの祭典といえますか、競技ですので、検討していただいて、ぜひたくさんのお子どもたちが参加できるような雰囲気をつくっていただければと思っております。

○勝本教育長

それでは、御質問がないようですので、議事とさせていただきます。

○帯田教育次長

今回、議事がございますので次に移らせていただきます。その他でございますが、事務局からはございませんが、委員の皆さんから何かございませんでしょうか。

○野口委員

議会だよりを拝見しまして、パソコンで議会を拝見させていただいたんですけども、なかなか、具体的な数値を知ることができなかったことが、その議会によって、如何に長与町の小学校、中学校の先生たちが大変な労働を強いられているということを知りました。特に小学校よりも中学校の勤務時間の数字を見まして、また、委員としまして、なるべく学校の先生たちが、うつ病とかにならないようにという気持ちを持っていますので、そのところを危惧して発表させていただきました。

○金崎理事

御心配ありがとうございます。まず、小・中学校の先生たちを対象にストレスチェッ

クっていうのをさせていただきました。昨日、それぞれの先生方の手元にストレスチェック、ストレスチェックの個別の診断というのが行っております。学校でも全体が把握できるようにしております。

まずは、そういったストレスチェックするというのが1点。そして、恐らく勤務時間等で御心配をされたのではないかというふうに思いますが、長与町の教育委員会では、各学校、勤務時間が月で、100時間、80時間、60時間、それぞれ超えた教職員について、各学校は氏名まで確実に把握をし、教育委員会にその人数を報告をするということを義務づけており、それによって、把握をしております。

また、学校全体がどのような動き方をしているかという点では、学校がいつ開錠し、そしていつ施錠されるかについて、把握をしているような状況です。

教職員の勤務時間につきましては、御指摘のとおり、小・中学校とも、パソコンでそれぞれ各個別の時間をとっておりますが、さらに中学校は、部活動が土日にございますので、その時間を加えて計算をしていますので中学校の先生が小学校の先生よりも、勤務時間が長くなっているところがあるかと思っております。

こういった勤務時間の解消につきましては、今申し上げた通り、部活動が非常に大きな要因を占めておりますので、この適正化に向けて各学校とも、細則を検討する、あるいは検討した細則を実施するというところで、取り組んでおります。

さらに、今年度も結果を受けて、いろいろと改善をしていくところがあれば改善をしていく方向で取り組んでおりますというところが現状です。

○野口委員

はい、ありがとうございます。今まで具体的に知る機会がありませんでしたので、長与町がいかに真摯にそういう問題に取り組んでおられるのかっていうことが、よくわかりました。委員としては、教育のことを考えたら子供たちの成績はもちろんですけども、先生たちも、健康第一であって欲しいという願いがありました。ですので、必死でその議会の様子をメモした結果を今この場で発表させていただきました。

○帯田教育次長

ありがとうございます。他にございませんでしょうか。よろしければこれで、7月の定例委員会を終わらせていただきたいと思います。お疲れさまでした。